

【事務事業シート】

1

当初

事 項	県立学校庶務事務システム導入事業費						予算主管課		教育総務課			
事 業 概 要	全ての県立学校に庶務事務システムを導入し、総務系事務の効率化及び負担軽減を図ることで、学校現場全体での業務の見直しを積極的に進め、教員の時間外勤務の縮減につなげる。						始期	2023				
							終期					
K P I	県立学校庶務事務システム開発進捗率											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	64 %		目標値	100 %		目標値	%		
	実績値	%		実績値	64 %		実績値	100 %		実績値	%	
	ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	132,756 千円		最終現計 予算額	116,029 千円		最終現計 予算額	千円		
決算額			132,209 千円		決算額	115,956 千円		決算額	千円			

6
年
度

要因分析	要因									
	総括									
見直し方向性	維持	引き続き、円滑な運用を図るとともに、学校現場からの要望等を踏まえ、随時必要な改良等を加えていく。 ※KPIはR7年度から「安定稼働率」に変更済み								

2

当初

事 項	県立学校専門スタッフ配置事業費						予算主管課		高校教育課			
事 業 概 要	スクール・サポート・スタッフ、ICT教育支援員、大学生スクールサポーターの配置により、学校のチーム力を強化し、教員が子どもに向き合う時間を確保することで、教育の質の向上、教員の負担軽減、優秀な人材の確保を図る。						始期	2018				
							終期					
K P I	スクール・サポート・スタッフ、大学生スクールサポーター配置校における時間外勤務月80時間超の教員の割合											
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	0 %		目標値	0 %		目標値	0 %		
	実績値	22.9 %		実績値	22.6 %		実績値	21.9 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	0 %		達成率	0.2 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	81,513 千円		最終現計 予算額	96,606 千円		最終現計 予算額	千円		
決算額			66,246 千円		決算額	95,006 千円		決算額	千円			

6
年
度

要因分析	要因 5年度と比べて、スクール・サポート・スタッフを13名増の30名配置したことにより、時間外勤務月80時間超の教員の割合の減少につながったが、0パーセントの目標達成には至らなかった。									
	総括									
見直し方向性	維持	7年度以降も継続的な人員の配置及び教員の働き方改革や業務の精選に関する取組を継続するとともに、有効事例を集約して学校間で共有することで、KPIは目標達成すると考えられる。								

3

当初	事 項	学校問題解決支援事業費						予算主管課	高校教育課		
	事 業 概 要	学校で起こる生徒指導上の諸問題を解決するために、高度な知識・技能を持った専門家（スクールロイヤー及びガーディアンズ）が専門的な立場から問題解決を支援する。						始期	2018		
								終期			
	K P I	スクールロイヤーへの相談回数及びスクールガーディアンズの派遣回数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	56 回	目標値	59 回	目標値	62 回	目標値	65 回
		実績値	53 回	実績値	40 回	実績値	37 回	実績値	回	実績値	回
		ストック / フロー	フロー	達成率	71.43 %	達成率	62.7 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	2,232 千円	最終現計 予算額	2,260 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			1,719 千円	決算額	1,275 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因 コロナ禍前よりも学校の教育相談体制が充実し、生徒が抱える問題の早期発見につながり、トラブルの件数が減少した。そのため、スクールロイヤーへの相談回数及びスクールガーディアンズの派遣回数自体が減少したと思われる。									
	総括										
	見直し方向性	改善	7年度は、公立学校の学校管理職や生徒指導に携わる担当教員の連絡協議会等において、相談・派遣内容の事例を共有し、本事業の認知度を高めることで、KPIの向上につなげる。								

4

当初	事 項	県立学校校務支援システム維持管理費								予算主管課		高校教育課	
	事 業 概 要	統合型校務支援システムの運用を行う。								始期		2018	
										終期			
	K P I	安定稼働率											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%		
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
		コ ス ト			最終現況 予算額	53,601 千円	最終現況 予算額	57,988 千円	最終現況 予算額	千円	最終現況 予算額	千円	
	決算額				52,598 千円	決算額	57,988 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。										